

音楽科学習指導案

日 時 令和3年11月19日(金)
 6校時 13:40 ~ 14:25
 学校名 文京区立駕籠町小学校
 対 象 第2学年1組 25名
 会 場 4階 音楽室
 授業者 指導教諭 金田 美奈子

1 題材名 せんりつのうつりかわりをかんじてきこう

(小学生の音楽2：教育芸術社)

2 題材の目標

曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化との関わりに気付き、それらの働きが生み出すよさや面白さを見出しながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」を味わって聴くことができるようにする。

3 指導事項との関連

B 鑑賞(1)ア イ [共通事項] (1)ア

(本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」「変化」)

4 題材の評価規準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
知 「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」の曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化との関わりについて気付いている。	思 「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」の旋律の特徴や変化の働きが生み出すよさや面白さを見出し、曲全体を味わって聴いている。	態 曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」を聴く学習に取り組もうとしている。

5 児童の実態と題材設定の理由

第2学年の児童は、今年度より専科で担当している。1学期は、コロナ禍で表現活動に制限がある中で、リズムボックスを用いた「拍(ひざ)・リズム(声)→名字と名前のボイスリズムリレー」を常時活動として設定した。この活動を通して、拍によって表現をする技能だけでなく、呼吸のタイミングなどを工夫してフレーズを繋ぐ技能も身に付きつつある。

「旋律の特徴」については、「となりの音に上がっているから、やわらかく高くなる感じがする。」「同じ音でリズムが細かいから、走っているみたいな感じがする。」などと発言することができるようになってきている。また曲の仕組みについては、歌唱教材や器楽教材と出会う導入時に「音楽の仕組みで気付いたことはありますか。」という問いで意識をもたせるようにしている。このことで児童は「1段目と3段目が同じ旋律です。」「2つの部屋(2小節)ずつ、まねっこになっています。」などと発言し、音楽の構造に気付くことができるようになってきている。

6月に学習した題材「はくの まとまりを かんじとろう」では、歌唱と鑑賞で2拍子と3拍子の違いを学習した。題材の導入時は、3拍子の拍のまとまりを捉えることに課題のある児童が多く、3拍子での「名字と名前のボイスリズムリレー」では、友達の3拍子の名前リズムの後、1拍待って4拍子にリズムを整えてから入ってしまう様子が見られた。このような児童の実態を踏まえ、この題材では、常に2拍子と3拍子の音楽を比較しながら表現したり鑑賞したりした。このことで、学習の過程では曲想と拍子との関わりに気付き、自分の考えをまとめることができた。しかし、最終時に記述した鑑賞曲の紹介文では、児童の関心が旋律の特徴である「音の上行・下行」や「旋律の順次進行・跳躍進行」に向いてしまい、題材の本来のねらいである「拍のまとまり」について記述しない児童が多く見られた。

そこで、本題材では、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素である「旋律」「変化」について、児童が常に意識をして鑑賞の学習を進めることができるよう発問を精選するとともに、児童の体の動きや発言等から一人一人の学びの状況を観察し、学習カードでの振り返りを充実させる。

本題材で取り上げる鑑賞曲「たまごの からをつけた ひなどりのバレエ」は、旋律を口ずさんだり、体を動かしたりしながら聴くことで、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音楽を全体にわたって味わって聴く楽しさを感じ取る学習活動に適した楽曲である。今回は、第1時で旋律アの特徴について、第2時で旋律イの特徴と、旋律の移り変わりによる変化について知覚・感受する活動を設定する。このように題材を構成することで、旋律アについて知覚・感受したことを踏まえて旋律イを聴き、知覚・感受を深めるとともに、曲の仕組みに興味をもち、この曲全体の雰囲気や表情、味わいと音楽の構造との関わりを捉えることができるようになると考え、本題材を設定した。

6 教材について

「組曲『展覧会の絵』から『たまごの からをつけた ひなどりの バレエ』

(ムソルグスキー作曲 ラベル編曲)

へ長調 4分の2拍子 三部形式(A1-A2-B-A3-コーダ)のスケルツォで、細かいリズムの旋律が留まること無く続く。画家で建築家のヴィクトル・ハルトマンの絵画作品をインスピレーションとしてピアノ曲として作曲された組曲の中の1曲である。カナリアの雛が軽やかに動き回る様子を表している。本題材では、ラベル編曲の管弦楽版を使用する。

7 題材の指導計画と評価計画(全3時間)

時	目標	○ 学習内容 ・ 学習活動	評価規準(評価方法)		
			知・技	思	態
第1時 (本時)	「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」の曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化との関わりに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲全体の聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かしながら「たまごの からをつけた ひなどりのバレエ」の旋律アを聴く。 ・どんな様子を表しているのかについて、感じたことを交流する。 ・題名を知る。 ・体を動かしながら、曲全体を聴く。 ○旋律アの特徴の知覚・感受 <ul style="list-style-type: none"> ・手で旋律の動きを表したり旋律を口ずさんだりしながら聴く。 ・旋律アの特徴について、気付いたことや感じたことを話し合う。 ○旋律アの特徴の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・旋律アの特徴について気付いたことや感じたことを学習カードにまとめる。 ・曲全体を聴き、振り返りをする。 	①知 (発言、体の動き、記述)		
第2時	「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」の旋律の特徴や変化の働きが生み出すよさや面白さを見出し、曲全体を味わって聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律イの特徴の知覚・感受 <ul style="list-style-type: none"> ・旋律イを口ずさんだり手で旋律の動きを表したりする。 ・旋律イの特徴について気付いたことや感じたことを学習カードにまとめる。 ○変化の知覚・感受 <ul style="list-style-type: none"> ・曲全体を聴き、音楽が変化したら手を挙げる。 ・音楽の変化に合わせて体を動かしながら聴き、なぜそのような動いたのかを考える。 		思 (発言、体の動き、記述)	
第3時	曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」を聴く学習に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○曲や演奏のよさや面白さを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「たまごの からをつけた ひなどりのバレエ」の映像資料を見ながら聴き、曲や演奏のよさについて気付いたことや感じたことを友達と交流する。 ・曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化の関わりについて触れながら「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」の紹介文を書く。 			態 (発言、記述)

8 本時(全3時間中の第1時)

(1) 本時の目標

「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」の曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化との関わりに気付く。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	☆ 指導上の留意点 配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	・体を動かしながら「おどるこねこ」を聴く。	☆旋律の移り変わりに気を付けて体の動きを考えるよう指示をする。	
展開 30分	<p>○本時のめあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">ようすを思いうかべながら、きこう。</div> <p>○楽曲全体の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かしながら「たまごの からをつけた ひなどりのバレエ」の旋律アを聴く。 ・どんな様子を表しているのかについて、感じたことを交流する。 ・題名を知る。 ・体を動かしながら、曲全体を聴く。 <p>○旋律アの特徴の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手で旋律の動きを表したり旋律を口ずさんだりしながら聴く。 ・旋律アの特徴について気付いたことや感じたことを話し合う。 <p>○旋律アの特徴の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律アの特徴について気付いたことや感じたことを学習カードにまとめる。 ・曲全体を聴く。 	<p>☆音楽から感じたことを自由に体の動きで表すように指示をする。</p> <p>☆感じたことだけを話す児童には「なぜそう感じたのか」という追発問をして、音楽の用語で板書に整理する。</p> <p>☆作曲家の思いを知ることで、作曲者の意図に意識を向けて聴くことができるようにする。</p> <p>☆友達と動きを交流しながら話し合うよう指示をする。</p> <p>☆旋律の特徴の知覚・感受を深めるために、手で旋律の動きを表したり旋律を口ずさんだりしながら聴く活動を設定する。</p> <p>☆自分の考えと作曲者の考えを比べながら、更に聴き深めるようにする。</p> <p>☆「かんじたこと」と「気づいたこと」について整理して書くよう指示をする。</p>	<p>知「たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」の曲想及びその変化と、旋律の特徴や変化との関わりについて気付いている。 (聴取、発言、体の動き、記述)</p>
まとめ 10分	・振り返りをする。		